

令和5年度

富加町教育委員会事務の点検・評価報告書

(令和6年度実施)

富加町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条  
第1項の規定により、令和5年度富加町教育委員会事  
務の点検及び評価の報告書として本書を提出します。

令和6年9月9日

富加町教育委員会

# 令和5年度富加町教育委員会事務の点検・評価報告書

## 1. はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

本町教育委員会では、教育委員会が定める教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が執り行っている教育行政事務について、学校教育を除いた事業を対象に教育委員会自らが事後に点検及び評価を行いました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、客観性を確保するために評価の方法や結果について意見を聴取する機会として、有識者会議を開催し、教育主要施策及び事務事業について評価をいただきました。

教育委員会としましては、この評価を本町の教育行政に役立て、さらには町民の皆様からの情報、ニーズも幅広く収集し、今後の事務の改善・充実を図ります。

## 2. 点検及び評価の対象について

点検及び評価の対象とする事務事業は、点検及び評価を行う年度（実施年度の前年度の事務事業）の富加町教育委員会の教育計画等に定める施策に関する事務事業のうち、点検及び評価を行うことが必要と認める事務事業を対象としました。

## 3. 評価結果の取扱いについて

教育委員会が行う事務事業の点検及び評価に関する結果を報告書にとりまとめ、毎年9月開会の町議会定例会に提出し公表するとともに、翌年度における施策、事業の改善等に役立てるものとします。

## 4. 評価の方法等について

教育委員会の教育計画等に定める施策に関する事務事業のうち、点検及び評価の対象事業を主要施策（重要項目）9項目35事業について、事務担当課で一次評価（内部評価）を行いました。

一次評価を行った事務事業について、外部有識者会議において二次評価を行いました。

また、有識者によりご意見等をいただきました事項については、教育委員会において協議・議決をし、その結果を取りまとめた報告書を議会へ提出し、公表します。

## 5. 外部評価有識者について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定の趣旨に基づき、事務事業の点検及び評価を行うにあたり、教育に関し学識を有する者、教育に関し識見を有する者により構成する有識者により、一次評価の結果について意見をいただきました。

### ◇有識者名簿

氏名	帰属	部門	備考
松田知幸	富加小学校長	学校運営・学社連携	
竹内久美子	双葉中学校長	学校運営・学社連携	
櫻山一倉	富加町社会教育委員会会長	社会教育全般	

木澤 忠和	富加の青少年を育てる会会長	地域教育（青少年育成）	
井戸 要子	富加町民生児童委員	一般有識者（地域支援）	
渡辺 彰	富加町スポーツ推進委員 委員長	一般有識者（社会体育）	

#### 【報告書の構成】

本報告書は、前記「評価の方法等について」に示した方法により決定した評価について、重点項目別に要約したものです。

評価では、対象事業を9項目に大分類し、それぞれの項目毎に細分類した重点項目を設定し、AからDまでの総合判定を行いました。

AからDまでの判定基準は次のとおりです。

- |  |
|--|
| <p>A：当初の目標が順調に達成されているもの（◎印で表示）</p> <p>B：当初の目標が概ね順調に達成されたが、少しの課題が残るもの（○印で表示）</p> <p>C：計画のとおり達成する見込みが無く、多くの課題があるもの（△印で表示）</p> <p>D：未着手・未実施のもの（－で表示、事業の廃止等を含みます。）</p> |
|--|

#### 重点項目の評価の結果

5年間の評価の結果（項目数）は、次のとおりです。

判定	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
A	22	14	12	16	16
B	19	10	12	11	19
C	0	14	13	8	0
D	0	3	4	0	0
合計	41	41	41	35	35

※ 教育計画の見直しにより、年度によって重点項目数が違うため合計は一致しません。

※ こども課新設（令和4年度）に伴い、点検評価シートの見直しを行っています。

以上の結果から、令和5年度事業については、3年余り続いたコロナ禍がようやく明け、概ね順調に目標を達成することができたものと考えています。

しかしながら、一部の項目には課題も見られることから、その理由について考察し、事業の改善、達成に向けて努力していきたいと思えます。

今後も法の趣旨に基づき、毎年度、点検・評価を実施し、効果的な事務・事業の推進を図ります。

## 令和5年度富加町教育委員会事務の点検・評価のまとめ

点検・評価を重点項目別に下記のとおり要約しました。

### 1. 教育委員会の活動

#### 【重点項目】 1-1 教育委員会の会議開催

【評価】 A

#### 【成果・課題】

年間13回（定例会12回、臨時会1回）の教育委員会議を開催し、教育行政に関する重要事項等の審議・決定を行った。

#### 【重点項目】 1-2 教育委員会規則等の制定及び改廃

【評価】 A

#### 【成果・課題】

要綱の制定を1件、一部改正を2件、規則の一部改正を1件行った。

#### 【重点項目】 1-3 教育委員会による視察、研修、参観

【評価】 B

#### 【成果・課題】

教育委員会による学校訪問、学校式典、学校行事などの参加・参観を一部実施した。  
学校やこども園を訪問することで学校経営等の把握と施設の確認を行うとともに、指導や支援を通して、その内容を町の教育計画に反映させる。

### 2. 教育総務事務事業

#### 【重点項目】 2-1 教育行政の総合的企画及び調整

【評価】 A

#### 【成果・課題】

第4次岐阜県教育振興基本計画を参照し、地域の子どもたちを地域で育むこと等を観点に、令和6年度町教育計画を策定した。また、教育関連行事を集約した「子育て支援カレンダー」を作成した。

町教育新生夢プランの推進を図るため、ICT教育、特別支援教育に対応した教育計画等の見直しが適宜求められる。

#### 【重点項目】 2-2 教育施設の運営管理

【評価】 A

#### 【成果・課題】

地区公民館（東・西・南）に管理人を配置し、適正に管理しているが、管理人の高齢化が進んでいる。郷土資料館の管理は、職員、資料調査補助員及び町シルバー人材センターへの委託により行った。

#### 【重点項目】 2-3 教育施設・設備の整備及び維持管理

【評価】 A

#### 【成果・課題】

主な工事として、タウンホール大ホール調光操作卓更新、正面入口タイル修繕等を行った。社会教育施設、社会体育施設の各種維持管理業務を業者委託するとともに、職員による維持管理を随時実施した。

施設の老朽化に伴い、計画的な各種修繕が必要となる。

**【重点項目】 2－4 教育に関する調査及び統計**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

地方教育費調査（毎年）の統計調査を実施した。

**【重点項目】 2－5 教育関係団体への活動支援**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

コロナ禍が明け、各種団体の活動が段階的に再開したが事業の縮小が見られるため、今後の補助金について点検や見直しが必要である。

**3. こども園・小学校の運営、管理**

**【重点項目】 3－1 こども園等の運営管理**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

各給付事業を適切に実施した。

町こども園等の施設及び設備の適正な維持管理を実施しているが、老朽化により各種修繕が必要である。また、3歳未満時の増加により、こども園の保育室及び保育士が不足する可能性がある。

**【重点項目】 3－2 学校施設及び設備の管理**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

各設備の保守点検による報告事項を基に、修繕工事を実施した。

小学校中舎屋上防水改修工事、屋外体育器具庫トイレ改修等を実施した。

施設の老朽化に伴い、計画的な各種修繕が必要である。

**【重点項目】 3－3 学校教育の振興**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

教育新生夢プランに基づく特色ある教育活動推進事業として、岐阜県について学ぶ「ふるさと教育研修」を実施した。

地域学校協働活動について、学校と地域がパートナーとなり、支援員を中心に体制を整えることができた。

**【重点項目】 3－4 児童の就学支援**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

適正就学に対する指導・助言・教育相談を行った。

学校安全サポーター、見守りボランティアによる登下校の安全管理を促進した。

見守りボランティアを増員することができた。

**【重点項目】 3－5 教職員、児童の福利厚生等**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

就学前の年長児、在学児童及び教職員の健康診断を行い、一人ひとりの健康状態を把握し、心身発達の指導や生活習慣の改善指導等に繋げている。

**【重点項目】 3－6 学校教職員の研修**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

教育事務所、教育研究所が示す各種研修計画に基づき、積極的に研修へ参加した。

**4. 社会教育の重点と施策**

**【重点項目】 4－1 共に学び合う生涯学習社会の構築**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

公民館講座、祖父母学級「友愛ブレンド学級」及び読書活動を実施した。  
図書室の図書の貸出数が減少したため、本に興味を持つような活動を推進する。

**【重点項目】 4－2 生涯学習基盤の整備**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

タウンホールとみか、地区公民館の貸館事業を実施した。  
利用者による施設の清掃作業を実施した。  
南公民館に比べ、東・西公民館の利用率が低いため、公民館講座の実施会場に設定するなど、利用機会の増加を図る。

**【重点項目】 4－3 生涯学習推進体制の整備**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

生涯学習アドバイザーの会、読書サポーターズの会、及び家庭教育学級の活動を実施した。参集型で参加できない人があるため、在宅型の取り組みも検討する。  
英語指導助手の雇用により、子どもたちの外国語に対する興味や関心を高め、学力の向上を図る。

**5. 家庭教育の重点と施策**

**【重点項目】 5－1 家庭教育を推進するリーダーの育成**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

新旧役員による家庭教育学級運営会議を開催した。  
家庭教育学級への積極的な参加が少ないため、保護者間での繋がりが作れるようなサロン形式の活用を検討する。

**【重点項目】 5－2 子どもの読書活動の啓発と普及**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

絵本ライブ、読み聞かせ活動などを実施した。  
子どもの読書推進だけでなく、町民の読書に親しむ環境づくりや学校との連携を図る。

**【重点項目】 5－3 子どもの基礎学力定着のための家庭学習支援**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

家庭学習アプリを導入し、家庭におけるタブレット学習を推進した。  
各家庭における環境や考え方の違いから、家庭学習への支援の方法の選択が困難と

なっている。

**【重点項目】 5－4 家庭教育参画の啓発**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

家庭教育学級、パパママ教室を開催した。

参集型だけでなく在宅型の開催も計画し、より多くの参加を促す。

**6. 青少年育成の重点と施策**

**【重点項目】 6－1 青少年活動を支援する環境づくり**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

ラジオ体操講習会、町民ラジオ体操会、青少年を守るつどい、夏期夜間巡回、あいさつ運動、情報モラル教室を実施した。

あいさつ運動への参加意識が低いため、改めて十分な説明や周知に努める。

**【重点項目】 6－2 青少年関係団体の指導者育成と主体的活動の支援**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

指導者を対象にした各種会議を開催した。

会議での議論を活発化させるとともに、団体の主体的な活動を支援する。

**【重点項目】 6－3 青少年の体験活動の目的の明確化**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

子ども会事業として、リーダーデイキャンプ、球技大会、インリーダー研修会（日帰り）を実施した。

中学生ボランティアが青少年を守るつどい等で活躍しており、今後も社会体験の場をできる限り提供する。

**【重点項目】 6－4 情報モラルに関する啓発の充実**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

小学生高学年とその保護者を対象に情報モラル教室を開催したほか、機関紙「いくせい」で啓発を行った。

今後も情報モラルに関する研修会を学校や家庭教育学級と連携して開催し、家庭でのルール作りなどについて啓発を図る。

**7. 人権教育の基本方針**

**【重点項目】 7－1 家庭教育への支援**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

青少年を守るつどいや子育てに関する教室、会議等を開催した。

支援が必要な家庭や子どもが増加傾向にあるので、今まで以上の多様な対策が必要である。



**【重点項目】 7-2 地域社会における学習機会・啓発活動の充実**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

小学校、家庭教育学級と連携した情報モラル教室、絆の日を中心とした命の学習、及びSOSの出し方教育等を年間計画に沿って実施した。

現在の活動の様子を広め、取組の価値について広く町民に知ってもらうことで、協力者を募る。

**【重点項目】 7-3 いじめや体罰は許されない気風の醸成**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

いじめ問題対策連絡協議会を開催し、その事案や可茂地区の動向について共有した。

いじめや情報モラルは喫緊の課題であり、今後もその危険性や未然防止について継続的に啓発する。

**8. 社会体育の重点と施策**

**【重点項目】 8-1 「町民一人1スポーツ」を目指した生涯スポーツの促進**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

町民スポーツ大会（ソフトバレーボール、ソフトボール、やわらかバレーボール）、レクリエーションフェスティバルをはじめ、軽スポーツ教室として「モルック」「ラダーゲッター」の体験会を実施した。

町民スポーツ大会の見直しを検討するとともに、軽スポーツの普及啓発に努める。

**【重点項目】 8-2 スポーツを通じた青少年の健全育成の推進**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

スポーツ少年団の行事や子ども向けのスポーツ事業を実施した。

スポーツ少年団の団員数が減少傾向にあるため、活動のPRや体験会を行うなど入団者の確保を図る。

**【重点項目】 8-3 競技力の向上を目指した取り組みの充実**

**【評価】 A**

**【成果・課題】**

加茂郡体育大会へ各種目部が参加し、総合2位となった。

坂井杯争奪中濃地区剣道大会を開催し、約400人が参加した。

各種目部の活動や部員募集を積極的に周知し、町民がスポーツに触れる機会を増やす。

**【重点項目】 8-4 地域のふれあいを育むスポーツの促進**

**【評価】 B**

**【成果・課題】**

町民スポーツ大会は、体育協会や体育委員が企画段階から運営に携わり実施した。

MT夢クラブ21の活動冊子を作成し、配布した。

小規模自治会が町民スポーツ大会に参加しない状況となっており、競技内容や大会見直しの検討が必要である。

## 9. 文化振興の重点と施策

### 【重点項目】9-1 文化・芸術活動の推進

#### 【評価】B

#### 【成果・課題】

公民館講座や住民が自主的に講師となるマイ講座を実施した。

富加町芸能連盟主催のふれあいオンステージには10団体が出場したが、加盟団体の減少や構成員の高齢化が進んでいる。

### 【重点項目】9-2 文化施設の活用

#### 【評価】A

#### 【成果・課題】

資料館において、夏休み子ども講座、マンガ「郷土の偉人斎藤新五」ができるまで、「つちびな展&友栄座写真館」等を開催した。また、資料館所蔵資料や文化財を動画撮影し、YouTubeで公開した。

半布里文化遺産活用協議会（半布里コミッティ）や関高校地域研究部と協働して、史料を積極的に公開し、PRに努める。

### 【重点項目】9-3 文化的所産などの保護・保存・活用

#### 【評価】A

#### 【成果・課題】

関田1号古墳地中レーダー探査における成果報告書を刊行、町内指定文化財の巡視、歴史講座、史跡等の維持管理を実施した。

夕田墳墓群保存活用計画策定委員会を発足し、委員会を2回開催した。夕田墳墓群保存活用計画を令和6年度までに策定し、計画的な保存と活用を進める。